

小学3年 思考力テスト — 解答と解説

1

(1)
イ

21

(2)		
ア すゆ	イ しゅこ	ウ らせおそとあう

22

23

24

(3)		
エ かまど	オ ぼーりんぐ	カ こーひーぎゅうにゅう

25

26

27

(4)
エ

28

2

(1)①	(1)②
<p>晴 ↓</p> <p>下 ← 天 → 気</p> <p>↓ 国</p>	<p>計 ↑</p> <p>日 → 時 → 間</p> <p>↑ 当</p>

29

30

[例]					(2)									
覚	え	た	い	漢	字	を	文	章	を	書	く	と	き	に
使	う	よ	う	に	し	ま	す	。	じ	っ	さ	い	に	使
っ	て	み	る	こ	と	で	、	使	い	方	や	意	味	を
た	し	か	め	る	こ	と	が	で	き	、	覚	え	た	漢
字	を	わ	す	れ	に	く	い	と	思	う	か	ら	で	す。

3

(1)				
左				右
4	1	5	3	2

32 (完答)

(2)				
左				右
4	2	1	3	5

33 (完答)

4

(1)	(2)			
16 まい	① 10 まい	② 33 まい		

34

35

36

(配点)
 ①(1)(2)(3)……各5点
 ①(4)、②(1)……各6点
 ②(2)……12点
 ③、④……各7点
 計100点

【解 説】

1 暗号に関する問題

(1) B1 情報を獲得する 置き換え

表1を用いて、きそくにしながら「すいか」を置きかえると「たおけ」となります。

(2) B1 情報を獲得する 置き換え

表1と表3を用いて、きそくにしながら置きかえます。そのとき、「一」→「う」となることなどに気をつけましょう。

ア「こめ（米）」を置きかえると「すゆ」になります。

イ「けーき（ケーキ）」を置きかえると「しゅこ」になります。

ウ「やさしいちゅー（野菜シチュー）」を置きかえると「らせおそとあう」になります。

(3) B1 情報を獲得する 置き換え

今度は、きそくにしながら、置きかえたものをもとにもどします。つまり、表1～表3を見ながら、3つ前

にある文字に置きかえることになります。

エ「けめぶ」をもとにもどすと「かまど」になります。

オ「ぶうろうぎ」をもとにもどすと「ぼーりんぐ（ボーリング）」になります。

カ「すうほうごあかのあか」をもとにもどすと「こーひーぎゅうにゅう（コーヒー牛乳）」になります。

(4) B2 置き換え 推論

(3)と同じように、置きかえたものをもとにもどします。まさお君の11月26日の日記から、「きょうは、おひる

にはんぱーぐをたべた。おいしかった。」となります。

ちなみに、11月27日の日記をもとにもどすと「きょうは、いちにちあめだった。」、11月28日の日記をもと

にもどすと「おねえちゃんからぼーるぺんをもらった。」になります。

2 漢字に関する問題

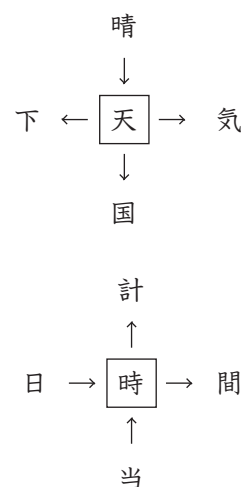
(1) B1 情報を獲得する 知識 調べる

① あてはまる漢字は「1年生、2年生で学んだ漢字の表」の「小学校1年生で学習する漢字」から選び、じゅく語はやじるしの方向に読む点に注意します。

すると、□には「天」があてはまることがわかります。

このとき、できるじゅく語は、「晴天」「天下」「天国」「天気」です。

② 「小学校2年生で学習する漢字」から選ぶことに注意します。すると、□には「時」があてはまることがわかります。このとき、できるじゅく語は、「時計」「日時」「当時」「時間」です。



(2) **C1** 理由 推論 具体・抽象

あなたが漢字を覚えるときにしている工夫、その工夫のよい点を書きます。たとえば、学んだ漢字を毎日使ってみることが挙げられます。実際に漢字を使うと、その使い方や意味もよく理解できるので、覚えた漢字をわすれにくいと言えます。また、よく目につく所に、覚えたい漢字を書いた紙をはっておくことも1つの方法です。漢字を目にする機会をふやすことで、覚えたい漢字が頭に残りやすいと言えます。他にもさまざまな方法が考えられます。あなたはどのような工夫をしていますか。その工夫のよい点を考えながら、ふり返ってみましょう。この問題では、①漢字を覚えるときにする工夫が書かれているかどうか、②①の工夫のよい点が書かれているかどうか、③①～②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④まず目の使い方が正しいかどうか、⑤表現や表記に誤りがないか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心にしています（ただし、40字以上60字未満の解答については、①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、40字に満たない解答は①～⑥全て採点対象としません）。

3 数を推理する問題

(1) **B1** 情報を獲得する 調べる 順序立てて筋道をとらえる

カードを左からA、B、C、D、Eとして考えます。

- ・ ヒント②より、Cは5とわかり、「A、B、5、D、E」となります。
 - ・ ヒント③より、Dは3とわかり、「A、B、5、3、E」となります。
 - ・ ヒント①、②より、1は4と5の間にあるので、Aが4、Bが1とわかり、「4、1、5、3、E」となります。
- 残ったEは2となるので、カードの並び順は左から4、1、5、3、2となります。

(2) **B2** 情報を獲得する 調べる 順序立てて筋道をとらえる 特定の状況を仮定する

同じようにカードを左からA、B、C、D、Eとして考えます。

- ・ ヒント①より、Cは1とわかります。
- ・ ヒント③より、Bは2とわかります。

ここまでで、カードの並び順は左から「A、2、1、D、E」となります。

ヒント②より、3がA、D、Eのどこになるかを考えます。

- ・ Aが3の場合
「3、2、1、D、E」となり、3より左にあるカードが1まいもありません。ですから、Aは3ではありません。
- ・ Dが3の場合
「A、2、1、3、E」となり、 $7 - 2 - 1 = 4$ から、Aが4とわかります。このとき、残ったEは5となります。
- ・ Eが3の場合
「A、2、1、D、3」となり、3より左にあるカードの数字の合計が、 $1 + 2 + 4 + 5 = 12$ と、7より大きくなってしまいます。そのため、Eは3ではありません。

これらのことから、Dは3、Aは4、Eは5とわかるので、カードの並び順は左から4、2、1、3、5となります。

4 整理してかぞえる問題

(1) B1 情報を獲得する 再現する

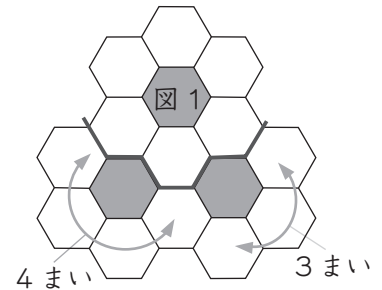
問題の図1には全部で7まい（ $=1+6$ ）のタイルがあります。

右の図で、太い線より下にあるタイルが図1よりふえたところです。

問題の図2には図1より、黒のタイルは2まい多くあります。

その黒のタイルのまわりにあるふえた白のタイルをかぞえると、白のタイルは図1より $4+3=7$ （まい） 多いことがわかります。

ですから、全部で $7+2+7=16$ （まい） です。



(2) B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

① 黒のタイルは、図1では1まい、図1から図2では2まいふえ、図2から図3では3まいふえているので、図3から図4では4まいふえると考えられます。ですから、図4には黒のタイルは $1+2+3+4=10$ （まい） ならびます。

② 問題の図3には図2より、黒のタイルは3まい多くあります。

その黒のタイルのまわりにあるふえた白のタイルをかぞえると、次の図のように白のタイルは図2より $4+2+3=9$ （まい） 多いことがわかります。

図2の白のタイルは $6+7=13$ （まい） なので、図3の白のタイルは $13+9=22$ （まい） です。図4には図3より、黒のタイルは4まい多くあります。その黒のタイルのまわりにあるふえる白のタイルのまい数は、 $4+2+2+3=11$ （まい） とわかります。

ですから、図4には白のタイルは $22+11=33$ （まい） ならびます。

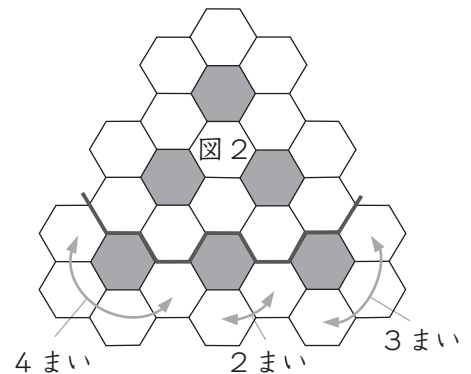


図4

